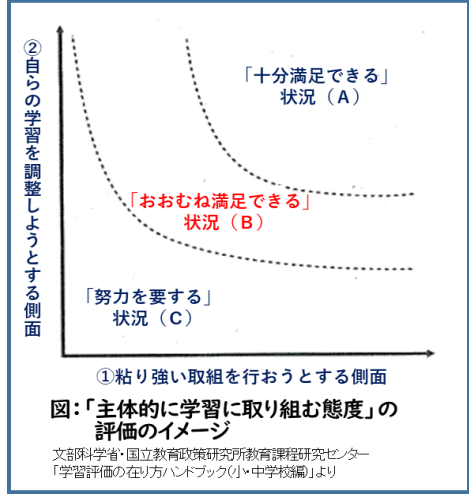


☆「主体的に学習に取り組む態度」は、**粘り強い取組を行おうとする側面**と**自らの学習を調整しようとする側面**との両面から評価することが求められます。

【参考】お役立ち情報・関連バックナンバー

- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価例(令和3年6月号)
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価例(令和3年7月号)
- 「主体的に学習に取り組む態度」について(令和3年2月号)
- 評価に関する校内研修例について(令和2年10月号)



学習指導要領に基づいた評価を行うために



☞単元計画や評価規準等の詳細はこちらで確認ください。
※小中学校ともに、全教科、こちらからダウンロードできます。

単元全体を見通し、主体的に学習に取り組む態度を評価する場面を計画的に設定

「『指導と評価の一体化』(国立教育政策研究所)から、「主体的に取り組む態度」をノートやワークシートの記述を活用して評価する例(中学校社会)の一部を抜粋しています。

中学校・社会

【単元名】世界平和と人類福祉の増大(参考資料:P92)
【評価方法】ノート・ワークシート

《単元で用いるワークシート(例)》

学びのあしあと

1 はじめに ~見通しをもって単元の学習に臨もう~
単元を貫く問い
「世界平和と人類の福祉の増大のために、日本はどのような役割を果たしていべきだろうか。」

現時点での考え
(これまでの学習から「世界平和と人類の福祉の増大」のために取り組むべき事にはどのようなことがあるだろうか、どうしたらよくなるだろうか。)

必要な情報とその情報の入手方法

2 単元の学習の途中で
(単元を貫く問いについて考えたことや友人や先生の話ししたことや心に残ったものをメモしておく。)

3 単元の学習を終えて

この単元の自分自身の学習への取組 (横の上に○を圈こう。)			
よい	3	2	1 よくない

今後の学習や生活に生かしたいこと

これからも考え続けたいこと(それは、社会にとってどのような意義がある?)

☆「単元の学習を終えて」という記述欄を設定した実践事例より
※ワークシートやノートなどに、単元の学習終了後も問い続けていきたいこと及びその社会的意義について記入させるよう構成する。

○「今後の学習や生活に生かしたいこと」
【「おおむね満足できる」状況(B)と判断した例】

Aさんの意見をもとに自分の考えを修正したところ、修正前よりよいものができた。次の学習でも異なる考えを聞きながら自分の意見を考えなおすことを大切にしたい。

これからの社会の在り方を判断する際、持続可能性の点から考えることはとても大切だと分かった。これから、自分の子供たちの世代のことも考えて判断していきたい。



問いに対する取組や学習したことから、今後の学習や生活に生かそうとすることを見いだしているかを見取る。